

北アルプス「剣岳」山頂から ATV に QRV de JA1AKA

7月29日新宿発夜行直通バスに乗り30日に室堂に着き、室堂から剣沢野営場まで22Kgの機材とテント用具をかつぎ、一般の倍以上の時間をかけて剣沢に達し、テントサイトのほぼ中央にテントを設営しました。天候は良好で涼しくて夜は良く眠れました。翌31日早朝に登山を開始、天候が良過ぎて暑いこの時期登山者が多いので危険な場所では30分以上待たされました。待ち時間のため若干山頂着が遅れました。山頂は岩がごろごろしていて不安定な上登山者が多く、設営に苦労しました。1280MHzでは標高3,000m(2998m+2m)で4局のATV局の良好な映像を受信。山頂からもささげるものない360度の山岳大パノラマや山頂の賑わいを生中継しました。10GHzは剣沢まで持参したパラボラを岩場登りが危険なため置いてきてしまいました。10GHz用のヘンテナのみなのでDXとはQSOできず、近くの高岡市のJH9CFTとは私の勘違いで1Fを間違えたためQSOができませんでした。

暑さと荷重の重さで半分熱中症のような状態で頑張りました。下山後剣沢テントサイトに1泊し、翌8月1日早朝室堂、立山、富山径由で富山から直通高速バス池袋行きに乗り、夜帰京しました。

北アルプス「白馬岳」山頂から ATV に QRV de JA1AKA

8月28日登頂予定を天候不良のため9月11日に延期しました。10日長野新幹線東京駅発の一番電車に乗り、長野からバスで白馬を経由して猿倉まで行き、ここから登山を開始しました。今回はXYLが同行することになりました。

最初は剣岳同様天気が良過ぎて暑くてバテ気味のところに今年は雪が少なく秋も近付いているため大雪渓が溶けてくずれたり、クレパスができたりで危険なため側方の不安定な急斜面を登ったので予想以上に時間を費やしてしまい、明るいうちに宿泊予定の白馬村営頂上宿舎に着けないと判断。気温も低くなく、今回は装備も万全なので途中の避難小屋に泊まることにしました。夜中にちょっとしたハプニングがありましたが、翌11日早朝出発し、頂上宿舎で一休みして予定の8時を少し過ぎて山頂に到着しました。ところがこの日の頂上は雨でした。加えて風が強く、山頂に緊急用骨なしテントを石にくくりつけて設営。リグやカメラ等をぬれないように中に入れ三脚にアンテナを付けて高岡市のJH9CFTをコールして1280MHz F9 ATVでM5C×2のQSOが成立したときにはホッとしました。風雨強く、この状態では他の局とのSHFのQSOは無理と判断し、続いて10GHzに切り替えて三脚に51cmのパラボラを取り付け、飛ばされないようXYLにアンテナを持たせたのですが、ついに三脚の仰角用止めネジが破損して三脚が使用できなくなりました。しかし、なんとかXYLにパラボラをかかえて持たせ、JH9CFTとM5C×2で10GHz F9 ATV QSOに成功しました。その後は雨の中を1280MHz用19エレーブ八木をXYLに持たせ「右右!! 左!!」と怒鳴りながら画像が良くなる場所をさがすのですが、この人間マスト重い割り?hiには風でふらふらするのでM5Cのレポートを送るために非常に難儀をしました。

頂上からはガスのかかった方向盤と私の孫が描いてくれた私とXYLの絵をテロップにしたものを送信しました。今回は、この風雨の中10GHzで1局、1280MHzで7局もの多くのATV局とQSOができました。これもお相手頂いた多くのATV局とXYLのお陰と口には出さないけれど感謝しています。また、他に待っていたATV局があったようですが、私の体調不良と悪天候のため途中でQRTすることになり大変申し訳なくお詫び致します。撤収後村営頂上宿舎で一泊し、翌日下山、麗のペンションにさらに一泊して13日に近くの温泉で疲れを流して夕方帰京しました。お世話になった各局に御礼申し上げます。

来年は北海道の山々を移動してATV局を運用し、北海道の多くのATV仲間と楽しくQSOをしてくる予定です。

お相手願えるATV局はご連絡ください。



(9/11 白馬岳山頂にて ATV に QRV 写真は下山途中)

〒177-0041 東京都練馬区石神井町3-17-3 荒川 賢